映像情報メディア学会ワードテンプレート (タイトル)

－冬季大会予稿形式 (サブタイトル)－

ITE Word Template (Title)

－The Format of Proceeding of The ITE Annual Convention (Subtitle)－

映像 花子† 情報 太郎‡ 学会 次郎‡

Hanako EIZO† Taro JOUHO‡ and Jiro GAKKAI‡

†第三大学　　‡大阪株式会社

†Third University ‡Osaka Corporation

**Abstract** ITE (The Institute of Image Information and Television Engineers) provides a word template file for Proceeding of The ITE Annual Convention

1. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは，**3.0MB**以内としてください．またファイルは一つとし，パスワードなどによるPDFセキュリティ設定はしないでください．

1. ページ設定

A4 1ページまたは2ページ．　上下マージン20mm，左右マージン15mm，カラム間マージン7mmを目安としてこの原稿様式に従って作成して下さい．
注意：提出された原稿は「[著作権](http://www.ite.or.jp/content/copyright/%22%20%5Ct%20%22break)」に関する事項が適用されます．御理解の上，原稿を作成下さい．

1. フォント・文字
	1. 使用できるフォントの制限

原稿内に使用するフォントは以下に限定してください．

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | Windows | Macintosh |
| 日本語フォント | MS明朝またはMSゴシック | 細明朝または中ゴシック 平成明朝または平成角ゴシック |
| 英字フォント | Arial, Century, Times, Times New Roman, Helvetica, Symbol |

やむをえずこれら以外のフォントをご利用の場合は，PDF変換時に「フォントの埋込み」を必ず行って下さい．埋込みをしていない場合の文字化けは著者の責任になります．

PDFファイルへの変換手続きにつきましては，

<http://www.gakkai-web.net/pdf/>　をご参照下さい．

* 1. 使用できる文字

コンピュータの機種により文字化けが発生する可能性がありますので，漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください．特にMacintosh をお使いの方はローマ数字や丸付き数字などの特殊記号については必ずJISコードをご利用ください．

1. 配置
* 表題(Title):原稿用紙の指定箇所に和文または英文(和文の場合は必ず英文題目を記入のこと)で本文の文字より少し大きく書いて下さい．
* 氏名・勤務先(Authors,Affiliation)：原稿用紙の指定箇所に，和・英文両方とも書いて下さい．
・要約(Abstract)：原稿用紙の指定箇所に，**英文**50ワード以内で書いて下さい．
* 本文(Text)：1段組，2段組どちらでも結構です．
* 発表者連絡先(Address)：本文末尾の脚注指定箇所に，登壇者の勤務先，部課名，同所在地，電話番号，E-mail等をひとまわり小さい文字で書いて下さい．本文と脚注の間に細い線を入れて下さい．
1. 色使い

文字も含め，色使いの制限は特にありません．

1. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合，PDF化することにより，出力品質が劣化することがあります．ファイルサイズ制限内で，PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください．

1. ファイル形式

電子原稿は，Adobe Acrobat Reader7.0以上で表示または印刷可能なPDF（Portable Document Format）ファイルで提出してください．

1. ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送りください．

1. 原稿提出作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません．OSはWindows98以上またはMacintosh 9.0以上を推奨します．

1. PDFファイルの作成方法

PDFファイルは，原則としてAcrobat 7.0以降（または同等品）を用いて作成します．作成方法については付属のマニュアルをご覧ください．

Acrobat の詳細については<http://www.adobe.co.jp/>をご覧ください．

作成後、PDFを作成した機械とは別の機械で一度プリントアウトしてご確認下さい。（特に数式・表・グラフなどを使用している方は文字化けなどの可能性がありますのでご確認下さい。）

1. 提出締切

２０２４年１１月１９日（火）厳守

**文 献**

1. (雑誌の場合) 著者名：“標題”，雑誌名，巻，号，pp.を付けて始め－終りのページ，(英語月年)
2. (雑誌例1) 山上一郎，山下二郎：“パラメトリック増幅器”，映情学誌, 62, 1, pp.20-27(Jan.1979)
3. (雑誌例2) W. Rice, A. C. Wine, and B. D. Grain： “Diffusion of Impurities During Epitaxy”, Proc. IEEE, 52, 3, pp.284-290( March 1964)
4. (著書，編書の場合) 著者名または編者名：“書名”，発行所，発行都市名(発行年)
5. (著書，編書例1) 山田太郎，木村次郎（編）：“移動通信”，オーム社，東京，pp.21-41(1989)
6. (著書，編書例2) H. Tong, Nonlinear Time Series，J. B. Elsner, ed.：“A Dynamical System Approach”，Oxford University Press, Oxford(1990)
7. (著書の一部を引用する場合) 著者名，“標題”，書名，編者名，章番号またはpp.を付けて始め－終りのページ，発行所，発行都市名(発行年)
8. (著書の一部引用例1) 山田太郎，木村次郎（編）：“周波数の有効利用”，移動通信，pp.21-41，コロナ社(1989)
9. (著書の一部引用例2) H. K. Hartline, A. B. Smith, and F. Ratlliff,：“Nhibitor Yinteraction in the Retina, in Handbook of Sensory Physiology”, ed. M. G. F. Fuortes, pp.381-390, Springer-Verlag, Berlin.
10. (国際会議の場合) 著者名：“表題”，会議名，講演番号，pp.を付けて始め－終りのページ，(英語月年)
11. (国際会議例) Y. Yamamoto, S. Machida, and K. Igeta：“Micro-cavity Semiconductors with Enhanced Spontaneous Emission”，Proc. 16th European Conf. on Opt. Commun., MoF4.6, pp.3-13 (Sept.1990)
12. (国内大会，研究会論文集の場合) 著者名：“標題”，学会予稿集名，講演番号，pp.を付けて始め－終りのページ，（英語月年）
13. (国内大会，研究会論文集例) 川上三郎，川口四郎：“紫外域半導体レーザ”，1995映情学年大，25-1，pp.20-21(1995)

†第三大学　工学部　電子工学科

〒105-0123 東京都港区山田1-2-3
TEL.03-3432-4677　E-mail: hanako@eizo.ac.jp